

Printalk

特集 | THE 永久保存版

マルワの インターンシップ受け入れの全貌

連載 | マルワアカデミー

いきもの平針紀行 ～なごや生物多様性センターを訪ねて～ Part 1



マルワの インターンシップ 受け入れの全貌



↑ ※写真は当社スタッフによる再現です！

マルワでは、20年以上前からインターンシップや職業体験を毎年複数受け入れてきています。社員は普段の業務に加えて、教えたり説明したりする時間が必要となるため大変ですが、若者の

学びの一助となれば、という思いから受け入れを継続しています。本記事では、実際の事例を元に、マルワのインターンシッププログラムを特別に公開します！

**マルワの
インターンシップ**

- 中学生（1〜2日間）
- 高校生（3〜5日間）
- 大学生（5日間）

マルワの社内委員会のひとつ、**私たち「おもてなし委員会」がインターンシップを担当します！**



1 受け入れまでの流れ

- ① 大学側から今年度の受け入れ依頼
- ② 希望期間と人数を確認し、受け入れの可否を確認
- ③ 社長への報告と予定等の確認、受け入れの可否について決定
- ④ 受け入れ可能な期間とその他の条件（人数等）を大学へ連絡
- ⑤ 大学側から送付される学生の履歴書等の必要書類を確認
- ⑥ 学生との直接連絡（学生からの電話連絡または事前訪問）
- ⑦ 必要事項の伝達、質疑応答
- ⑧ 当日へ

基本的にインターンシップ（就業体験）は学校側からのご依頼を受けて実施しています。社会に対する企業の責任として、可能な限り受け入れたいと考えています。大学生のインターンを例にしてご紹介します。

2 事前準備

▲ 実際の課題記入シート ▶

インターンの実施が決定した段階で、実習を担当する各部署担当者に連絡・依頼。全社員で共有します。単なる「仕事の手伝い」ではなく、マルワに来たからこそ「体験できる学び」を得ていただけたらと考え、課題等を設定し、見学・体験と課題作成の二本柱でカリキュラムを組み立てます。「発想（企画）から発送（納品）まで」を実践します。

なお、事前課題は学校（学生）からのご要望次第で受けます（授業で事前学習の時間が取られている、社員にインタビューがしたい、等）。

▼ スケジュール例

日	時	内容	担当者	備考
1日目	朝 8:30~	朝礼	2・3階掃除班	8:20集合
	午前 9:10~	社長講話	社長	
	10:00~	弊社の説明	おもてなし	仕事の流れ、SDGsの弊社の考え方
	10:30~	会社案内	おもてなし	社内見学ツアー
	昼休憩 12:00~			
	13:00~	内校体験・実習	制作部	校正チェックの体験・実習
	14:00~	課題の説明 イラストレータ等体	おもてなし	課題の説明 デザイン作成ソフトの練習
	16:00~	happygoodsの 立案①		何を制作するか決定 企画シート作成
まとめ 16:50~	感想・まとめ	おもてなし	17:30終了予定	
2日目	朝 8:30~	朝礼・掃除	2・3階掃除班	
	午前 9:00~	印刷/加工機体験	製造部	印刷・加工の工程の体験
	昼休憩 12:00~			
	午後 13:00~	happygoodsの 立案②	おもてなし	何を制作するか決定 企画シート作成
	まとめ 16:50~	感想・まとめ	おもてなし	17:30終了予定
3日目	朝 8:30~	朝礼・掃除	2・3階掃除班	
	午前 9:00~	営業同行	営業部	営業の打ち合わせやお客さまへの対応の仕方を知る
	昼休憩 12:00~			
	午後 13:00~	営業同行	営業部	
	まとめ 16:50~	感想・まとめ	おもてなし	17:30終了予定
4日目	朝 8:30~	朝礼・掃除	2・3階掃除班	
	午前 9:00~	課題デザイン作成	制作部	手書きのレイアウト案及びキャラクター等イラストのスケッチ、採った素材を元に「作品」のデザイン作成
	昼休憩 12:00~			
	午後 13:00~	作品印刷・加工	制作部/製造部	PODで印刷、製本・加工など
	14:30~	happygoods 企画資料作成①	おもてなし	PR用資料を作成 (Word、PowerPoint、手書き)
	まとめ 16:50~	感想・まとめ	おもてなし	17:30終了予定
5日目	朝 8:30~	朝礼・掃除	2・3階掃除班	備考
	午前 9:00~	happygoods 企画資料作成②	おもてなし	PR用資料を作成 (Word、PowerPoint、手書き)
	昼休憩 12:00~			
	午後 13:00~	発表準備		成果物を使った発表の準備練習
	15:00~	発表・講評	おもてなし	発表後に成果物の記録を取っておく スライドの打出し、データを持って帰れるように準備 (CDに入れる)
	まとめ 16:50~	感想・まとめ	おもてなし	17:30終了予定

3 スケジュール

受け入れ一週間前に決定したスケジュールを全社員に通知し、改めて関係部署に確認します。全ての工程の仕事を体験します。実施の順番は仕事の動きや担当者の都合で前後しますが、学生さんに一週間の見通しを立てていただくために、簡易版スケジュールを初日にお渡しします。

初日までに準備しているもの

- ✓ サステナビリティレポート (CSR報告書)
- ✓ 事業案内
- ✓ 広報紙 (Printalk)
- ✓ 各種資料
- ✓ スケジュール表
- ✓ 課題のワークシート等

7 インターン4日目

4 日目スケジュール



これまでの3日間でインターンを通して知った、マルワで扱う素材やマルワでできることを活用して、作りたい商品を形にします。サポートを受けながら印刷用のデータを作成したり、実際に印刷・加工したりします。

また、最終日のプレゼンのための資料作りも行います。

- 課題作成
- プレゼン資料作成

4 いよいよ実施！ インターン初日

1 日目スケジュール



社長講話

- 朝礼で挨拶
- 社長講話
- マルワの取り組み説明
- 製造工程を追いながらのオフィスツアー
- 制作部の体験
…内校(社内校正)、編集ソフト実習



オフィスツアー



マルワの取り組み説明

8 インターン最終日 成果発表+課題制作

5 日目スケジュール

- プレゼン資料作成
- 発表準備
- プレゼン発表(各5~10分)

- これまでの制作例
- ノート
 - 日記帳
 - カップホルダー
 - 紙箱、手提げ袋 など



配布用資料をA4サイズで1枚作る他は、プレゼン方法は自由です。発表はマルワの社長・副社長に向けて行い、発表後に講師をお伝えします。

5 インターン2日目

2 日目スケジュール



- 製造部の体験
- 印刷機と各種加工機実習
- 課題

インターンシップを通してマルワのものづくりを体感してもらうため、商品の企画・デザインとサンプルを自ら作成し、最後に完成した商品のプレゼンの場を設けます。大学生へのお題は、「マルワの新商品」。マルワの資源を使った新しい視点には、社員も刺激を受けます。

今までにいただいた感想 (抜粋)



【大学生】

以前から興味があった印刷業に触れることができ、良い商品を作る奥深さを実感しました。企画から制作、営業まで学ぶことができ、とても充実していました。また最終日の制作したオリジナル商品を発表し、講師をいただいたのは5日間のまとめとしても大変有意義でした。



【高校生】

※高校生(3日間)は課題作成として「オリジナルノート」を制作します。

社員インタビューで丁寧に質問に答えていただき、進路に対する不安を聞いてもらって新しい発見がたくさんありました。ノート作りでは、自分でデザインしたノートを印刷・製本まで自分でやらせていただき、実際にできあがる・形になるという初めての体験が嬉しかったです。

6 インターン3日目

3 日目スケジュール



- 営業同行

実際にお客さまを訪問する営業部員に同行して、お客さまとの打ち合わせや対応の仕方を見学します。時には初日に作った名刺をお渡しして、ご挨拶させていただくことも。

まとめ

業務を手伝って貰えば会社側は助かりますが、そこから学生が確かな「学び」を得るのは、短時間ではとても難しいです。マルワで行うプログラムは考える時間を多く取り、自分が主体となって課題を行うことで、「なんとなく行っただけ」ではなく、成果として発表できる「形」を持ち帰って貰いたいと思っています。

その為には、対応する社員も時間と手間を掛けなければいけません。ですが学生の新鮮な発想に触れること、完成した時の喜びの表情、体験しての感想は、社員のモチベーションに繋がります。社員にとってもより良く伝えるための学びであり、これからの未来を担う若者の一助になると信じて、マルワはこれからもインターンシップをお迎えしていきます。

マルワは「**あいち生物多様性企業認証**」の認証企業です。近隣地域の生物・自然環境に関する記事を連載でお届けします。

いきもの平針紀行

Creature Hirabari Journey

生物多様性のために 私たちにできること
～なごや生物多様性センターを訪ねて～
Part1

4 頁の深い内容を みんなに

今回は、以前のいきもの平針紀行でご紹介した「細口池のツバメのねぐら入り復活の活動にも関わっておられる「なごや生物多様性センター」に伺い、取材してきました。

Interviewer
なごや生物多様性センター
について教えてください。

最近、保全活動によって、モツゴ、スジエビ、ギンブナなどの在来生物も徐々に戻ってきています。ただし、カダヤシという小さな外来魚や、ウシガエル、アメリカザリガニは未だに多く見られますね。ウシガエルは食用として、ザリガニはそのエサとしてどちらも人間に持ち込まれた生物です。



Interviewee
当センターは、なごやの生きものに関する情報を収集・発信するとともに、市民や保全団体・専門家・行政などと協働して身近な自然を守り・育てる活動を行うことを目的とした機関です。また、センターは市民団体を中心に構成された「なごや生物多様性保全活動協議会(なごピオ)」の事務局を務めています。センターと「なごピオ」の連携で、様々な事業を行っています。

一般市民が参加できるような活動はあるのでしょうか。

Interviewee
例えば「なごピオ」主催の事業で、毎年秋に実施する「なごや生きもの一斉調査」があります。調査員となってもいい、市内の約50ヶ所を一斉に調査します。今年、ハエトリグモの調査をしました。見る人によってはかわいい(?)ですが、なにぶんクモなので応募数は例年より少なく、600名程度でした(笑)。



Interviewer
ガマは今でも定期的に刈り取っているのでしょうか？

ほぼ毎月、刈り取っています。実は、ガマもヨシも同じように地下茎で増える水草なのですが、ツバメのねぐらとなるヨシは、水の満ち引きがある場所に生えやすく、ガマは、水位の変化がない比較的深い場所でも生育しやすいんです。昔の細口池の水は、農業用水として使われていました。人が水を使うことで水位の変化があり、ヨシも繁茂していたのですが、やがて農業用水としての使用がなくなり、ため池となったために、ガマが増えやすい環境になっています。



昔は、人と細口池の自然がうまく関わりあっていて、ツバメのねぐら入りが見られていたのに、人の関わり方が変わってしまい、途絶えてしまったんですね。そうですね。現在は、また人の活動によってヨシが増え、ツバメが戻ってきたということですね。ちなみに、生物に関する活動でこのように短期間で成果が得られることは、かなりめずらしいです。実際にねぐら入りは見ましたか？

私たちとしては、いきものに興味を持ち、存在を知ってもらえたら嬉しいですし、一斉調査には人手が必要なので、たくさんの方に参加してもらえるとありがたいです。他にも、10月には「なごや生物多様性センターまつり」があり、この日には一般の方も自由にセンターを訪問可能です。また、小中学生向けの「サマースクール」も実施しています。昆虫の標本づくりや川に入って生きものを観察するプログラムがあり、いつも定員オーバーになるほどの人気です。



いきもの調査、ぜひ、参加してみたいです！

Interviewee
「ご興味のある方は、「なごや市民生きもの調査員」に登録してみてください。各種情報をメールでお届けします。



Interviewer
はい！想像の上をいく光景でした！

細口池のツバメのねぐら入りは、「復活」というのがミソで、「年配の方には懐かしい景色、子どもには新しい景色」というところがいいですね。

活動において、センターや「なごピオ」はサポートする役割を担っているということでしょうか？

そうですね。私たちは、調査道具の貸し出しや専門的な解説などで、活動をバックアップするという立場にあります。細口池いきもの復活クラブさんのように、地域の方から積極的に情

「細口池のツバメのねぐら入り復活」にも関わっていらっしやっただけですね。

はい。「こちらも「なごピオ」の活動のひとつです。元々は、カメの生息調査から始まっています。カメの調査では、一時的な捕獲のために罟を仕掛けるのですが、調査開始当初は、ガマが水面を覆っていて、設置場所が無く困っていました。細口池いきもの復活クラブさんと協働で、ガマを刈り取り、ヨシを復活させる取り組みを始めてからは、湖面にスペースができ、浮島型カメ捕獲装置を仕掛けることが可能となりました。



2011年からの継続調査によって、外来種のミシシッピアカミミガメが最も

報をいただけると、私たちとしては非常にありがたいですね。また、住民の方だけではなく、地元企業の方にも期待しています。企業の方は、いわば毎日同じ場所を定点観測しているので、変化に気づきやすいと思うんです。あとは、大人の人手が必要な場面が多いので…。

マルワの『環境王』の出番もありませんね(笑)！

次回の春号では、『要注意な外来種の見分け方』などをお伝えします。

2023年10月～12月の『環境王』

- ワークショップを行ったら??
- 〇〇ができちゃいました!!
- (番外編)平針ガーデンハロウィンフェスタはじまりました!!
- 余り紙を有効利用してみた!!
- 秋の模様替え
- 環境にやさしいカレンダーができました!!
- 2023環境活動の報告をしてみた!!



『環境王』とは…
マルワYouTubeチャンネル内のシリーズの1つです。マルワの日常を『環境をテーマ』に切り抜きで皆さまにお届けするコーナーです!
動画のご視聴&チャンネル登録
よろしくお祈いします!

2024年も

「お・も・て・な・し」

新年最初のぷりんトークも無事発行できました。皆さまにとって2023年はどんな年だったでしょうか。マルワにとつての2023年はまさに「おもてなし元年」。オフィスのリニューアルとコロナの5類移行に伴い、多くのお客さまにご来社いただくが増えました。新しいマルワのオフィスは、自然のぬくもりを感じられる開放的な空間になっていて、印刷会社という固定観念を覆す、お客さまにとつても訪れる価値がある場所となっています。そんなオフィスのポテンシャルに負けじと奮闘しているのが当社の「おもてなし向上委員会」です。来社されるお客さまに有意義な時間をお過ごしいただくために創意工夫をしてお待ちしています。

そして、マルワがおもてなしするのはお客さまだけでなく、学生さんや地域のステークホルダーの皆さまも。今号の特集では大学生のインターンシップにスポットを当て、手続きの流れや、何を準備してどのようなおもてなしをしているのかを紹介させていただいています。大学生のインターンシップというところでも採用と直結して考えがちですが、マルワの場合は採用と切り離して取り組んでいます。利害関係でないからこそ、単なるお手伝いや、適性の見極めの場とせず、全力のおもてなしを心掛けています。短い期間の中で課題に取り組んでいただくなど大変なことも多いのですが、熱心に学び、自らの視野を広げながら、将来のキャリアについて真剣に考えていただいています。

今後もお客さまや学生さんたちとの交流を深め、お互いに刺激を受けながら成長していけるよう、更なるおもてなし向上に現在進行形で努めて参ります。ますますパワーアップした当社のおもてなしを多くの皆さまにお伝えしていきたいと思えますので、どうぞ2024年もご期待ください。



What' been up? 2023.9～ こんなことがありました。

2023年
9月

① ×メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)の講義をしました
② SDGs、ESGの講義をしました

③ 『環境デーなごや2023』に出展しました

10月

④ 全印工連CSR認定制度の「3スター企業」に認定されました

⑤ 『SDGs AICHI EXPO』に出展しました

11月

⑥ 『第14回ポスターグランプリ』にて2名が入賞、1名が入選しました

⑦ 『メッセナゴヤ2023』に出展しました

⑧ 防災講演会で講師を務めました
⑨ 碧海信用金庫さまの情報用紙で、マルワの中小企業版SBT認証取得を取り上げていただきました



ISO14001
ISO27001 認証取得